平成 22 年 6 月 29 日

各　　位

会　社　名　宝ホールディングス株式会社
代 表 者 名　取締役社長　　大宮　　久
（コード番号　2531　東証、大証　第 1 部）
問 合 せ 先　IR 室長　　木下　勝仁
T　E　L　（０７５）２４１－５１２４

当社定時株主総会における「当社株券等の大規模な買付行為に対する対応方針（買収防衛策）」の一部変更及び継続の承認に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 5 月 11 日開催の当社取締役会において、「当社株券等の大規模な買付行為に対する対応方針（買収防衛策）」の一部変更及び継続（以下、変更後のプランを「本プラン」といいます。）を決議し、あわせて、平成 22 年 6 月 29 日開催の当社第 99 回定時株主総会（以下、「本定時株主総会」といいます。）において、株主の皆様より、新株予約権の無償割当てに関する事項の決定を当社取締役会に委任する旨の議案について承認がなされることを本プランの効力発生の条件としましたが、本定時株主総会において、第 3 号議案「買収防衛策の継続にあたり、大規模買付者が大規模買付ルールを遵守していない場合の対抗措置の決定を当社取締役会に委任する件」が承認可決され、本プランの効力が発生することとなりましたのでお知らせします。

当社取締役会は、このたびご表明いただいた株主の皆様のご意思に基づき、今後も引き続き、本プランに従い、当社及び当社グループの企業価値、ひいては、株主の皆様の共同の利益の確保、向上に努めてまいります。

なお、本プランの内容につきましては、平成 22 年（2010 年）5 月 11 日付プレスリリース「当社株券等の大規模な買付行為に対する対応方針（買収防衛策）の一部変更及び継続に関するお知らせ」（当社ホームページ（http://www.takara.co.jp/）にてご覧いただくことが可能です。）をご参照ください。

以　上

当資料及び本編資料取り扱い上の注意点
当資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。